仕事の窓 10
開発建設部

新設橋梁建設工事見学会
～コロナ禍での地方自治体支援の取組～

令和2年9月9日に、新設橋梁建設工事の見学会を実施しました。コロナ禍ということもあり、感染防止対策の徹底のほか、参加者は市町村関係者8人、国関係者2人の計10人の少人数で行いました。

本見学会は、橋梁に関する基礎知識、橋梁保全に関する点検・診断・補修補強技術等について、橋梁の維持管理に携わる行政担当者に必要とされる技術力の習得・向上を目的としています。

見学場所全景

見学場所は南風原バイパスの北丘高架橋の上部工で、鋼桁部の建設工事の架設工法、塩害対策、多機能防食デッキなど、架設方法や耐久性の向上について学習しました。

橋梁等の社会資本の老朽化対策は、喫緊の課題であり、国土交通省では、「道路の老朽化対策の本格実施」と銘打って推進しております。特に、社会資本の大部分を管理している市町村においては、予算不足・人材不足・技術力不足の課題があり、国が支援していく必要があります。

現地見学状況

今回の新設橋梁建設工事見学会は、技術力不足に対して、支援を行うものであり、今後も毎年実施していく予定です。

お問合せ先
開発建設部　道路管理課
☎098-866-1915

仕事の窓 11
運輸部

自動車先進技術の確実な整備のために

近年、自動ブレーキなどの運行補助装置が数多く実用化され、今後より一層の普及が予想されています。また、政府は、自動運転の実用化に向けた制度整備や必要な技術開発を進めているところです。

これらの運行補助装置や自動運行装置には、自動車の前方を監視するカメラ、レーダーなどのセンサーやECU（エンジン・コントロール・ユニット）といった電子装置が数多く搭載されています。これらの装置の取り外し、対象装置の作動に影響を及ぼす整備又は改造（電子制御装置整備）を行うには、今年の4月から沖縄総合事務局長の認証が必要となり、事業場には、一級自動車整備士技能検定に合格した者または所定の自動車整備士技能検定に合格した者で陸運事務所長が行う「**電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習**」を修了した整備主任者を選任しなければなりません。

学科講習の様子（沖縄県自動車整備商工組合）

この講習は、整備主任者が電子制御装置整備に必要となる知識及び技能を習得することを目的としており、修了するには学科、実習を受講し、試問に合格する必要があります。

陸運事務所では、この講習を今年の7月～9月にかけて12回開催し、441名の整備士が合格しました。

実技講習の様子（沖縄県自動車整備商工組合）

お問合せ先
陸運事務所整備部門
☎098-875-0300